

# K F シールテクト S P シート工法 施工要領書

作成 2023年6月  
改訂 2024年9月

K F ケミカル株式会社

# 目 次

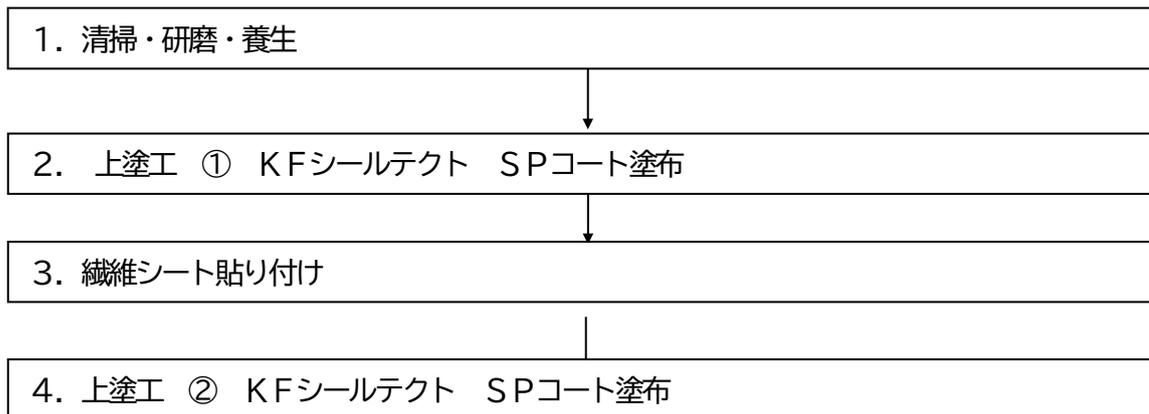
1	KFシールテクト SPシート工法 仕様	3項
2	施工フロー図	3項
3	施工条件	3項
4	施工手順	
4-1	清掃・研磨・養生	4項
4-2	KFシールテクト SPコート 塗布	5項
4-3	専用ポリエステルシート 貼り付け	6項
4-4	KFシールテクト SPコート 塗布	7項

## 1 KFシールテクト SPシート工法 仕様

### 標準仕様

工程	種別	使用材料	塗装方法	標準塗布量
1	1液湿気硬化型ウレタン塗料	KFシールテクト SPコート	ローラー+鋺	0.50kg/m <sup>2</sup>
2	強化繊維シート	SPシート工法専用ポリエステルシート	貼り付け	—
3	1液湿気硬化型ウレタン塗料	KFシールテクト SPコート	ローラー+鋺	0.70 kg/m <sup>3</sup>

## 2 施工手順フロー図



## 3 施工条件

### (1) 施工条件

以下の条件をすべて満たした状態で施工を行う。

- ・降雨、降雪、強風がないこと
- ・気温5℃以上、湿度85%以下であること
- ・施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと
- ・施工面は十分に清掃され付着阻害要因となる異物等がないこと

## 4 施工手順 4-1

作業名	清掃・研磨・養生	施工手順番号	1
-----	----------	--------	---

使用材料と使用量	なし	使用工具	①サンダー ②清掃用具一式 ③洗浄用スポンジ ④浄水 ⑤養生テープ
----------	----	------	---

作業内容	注意事項
<p><b>【清掃】</b></p> <p>① 透光板に付着した塵埃を、水を含ませたスポンジで洗い落とす。またスクレーパーなどで付着した水を払い取り、ブロアー等で乾燥させる。</p>  <p><b>【研磨】</b></p> <p>① 透光板表面の目荒らしはランダムサンダーで行う。研磨には#60～100の研磨材を使用する。</p> <p>② 研磨で発生した研磨カス等を濡れ雑巾等で清掃する。</p> <p>③ 清掃後、未乾燥箇所は必要に応じてブロアー等で乾燥させる。</p>  <p><b>【養生】</b></p> <p>① 透光板の枠を養生テープでマスキングする。</p>	<p>・下地の研磨工程は塗料の付着性に影響する為、透光板全面を均一、且つ丁寧に行う。</p> <p>・注意点としてディスクサンダーで研磨すると透光板が溶け出すため、偏心運動+回転運動のランダムサンダーを推奨している。また、集塵機能付きの機器を推奨する。</p>

## 4 施工手順 4-2

作業名	KFシールテクト SPコート塗布 (接着層)	施工手順番号	2
-----	---------------------------	--------	---

使用材料と塗布量	KFシールテクト SPコート (0.5kg/m <sup>2</sup> ×1回)	塗装用具	ローラー、ゴム鏝、金ゴテ
----------	---	------	--------------

作業内容	注意事項																													
<p>① KFシールテクト SPコートは1液タイプで、硬化剤等の混合は不要。</p> <p>② ローラー等で塗料を塗付け、金鏝またはゴム鏝で0.5kg/m<sup>2</sup>を均一に平滑に仕上げる。 規定量をローラーで配って鏝仕上げすると規定膜厚に達しないことがあるので、鏝仕上げ後に規定膜厚があることを確認する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>《 塗装間隔及び使用可能時間の目安について 》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">温度</th> <th>5~10℃ 冬期</th> <th>10~25℃ 春秋期</th> <th>25~35℃ 夏期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">項目</td> <td>標準</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>最短</td> <td>0分~</td> <td>0分~</td> <td>0分~</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装間隔※1</td> <td>最長</td> <td>~45分</td> <td>~30分</td> <td>~30分</td> </tr> <tr> <td>使用可能時間</td> <td>10時間</td> <td>8時間</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 SPコートの1層目を塗装してからSPシート工法専用ポリエステルシートを貼るまでの間隔</p> <p>《膜厚管理》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗布量 (kg/m<sup>2</sup>)</th> <th>ウェット膜厚 (μm)</th> <th>乾燥膜厚 (μm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.50</td> <td>500</td> <td>320</td> </tr> </tbody> </table> <p>《 使用可能時間について 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KFシールテクト SPコートは1液タイプですが、空気中の水分と反応する為、空気に触れていると硬化が進みます。 開封後、使用せずに放置する場合には、マスキングテープ、ビニール袋等で塗料を空気から遮断する。</li> </ul>	温度		5~10℃ 冬期	10~25℃ 春秋期	25~35℃ 夏期	項目	標準				最短	0分~	0分~	0分~	塗装間隔※1	最長	~45分	~30分	~30分	使用可能時間	10時間	8時間	4時間	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	ウェット膜厚 (μm)	乾燥膜厚 (μm)	0.50	500	320	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量： 15kg入り目</li> <li>容器： 18L石油缶</li> <li>消防法：第4類第2石油類</li> </ul> <p><b>施工条件</b></p> <p>以下の条件をすべて満たした状態で施工を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>降雨、降雪、強風がないこと</li> <li>気温5℃以上、湿度85%以下であること</li> <li>施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと</li> <li>施工面は十分に清掃され付着阻害要因となる異物等がないこと</li> </ul> <p><b>塗装用具のリユースについて</b></p> <p>SPコートは水分と反応する為、ローラー、刷毛に付着した塗料は、シンナーに漬け置いただけではシンナーに含まれる水分と反応して硬化しますのでご注意ください。</p>
温度		5~10℃ 冬期	10~25℃ 春秋期	25~35℃ 夏期																										
項目	標準																													
	最短	0分~	0分~	0分~																										
塗装間隔※1	最長	~45分	~30分	~30分																										
	使用可能時間	10時間	8時間	4時間																										
塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	ウェット膜厚 (μm)	乾燥膜厚 (μm)																												
0.50	500	320																												

## 4 施工手順 4-3

作業名	繊維シート貼り付け	施工手順番号	3
-----	-----------	--------	---

使用材料と塗布量	SPシート工法専用ポリエステルシート	塗装用具	特になし
----------	--------------------	------	------

作業内容	注意事項
<p>① KFシールテクトSPコート塗装後、SPシート工法専用ポリエステルシートを透光板全面に貼り付ける。</p> <p>貼り付ける繊維シートのサイズは、当該透光板の内枠から1cm程度小さいサイズに裁断しておくとしり付け易い。</p> <p>繊維シートの端部を持ち、透光板の上部から貼り付けて行き、空気が入り込まない様にゴムベラ、金ゴテ等で軽く押さえながら行う。空気が入った場合はゴムベラ等で外に押し出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材：ポリエステル繊維シート</li> <li>・繊維シートの裁断は、ホットスライドカッター等で焼き切るとカット部からの繊維がほつれ難い。</li> </ul>
	

## 4 施工手順 4-4

作業名	KFシールテクト SPコート塗布 (仕上げ層)	施工手順番号	4
-----	----------------------------	--------	---

使用材料と塗布量	KFシールテクト SPコート (0.7kg/m <sup>2</sup> ×1回)	塗装用具	ローラー、ゴム鏝、金ゴテ
----------	---	------	--------------

作業内容	注意事項																														
<p>① 繊維シート施工後、シートが透光板に安定するまで養生する。 (0.5~1時間程度)</p> <p>② SPコートをローラー等で塗付け、金鏝またはゴム鏝で0.7kg/m<sup>2</sup>を均一に塗り付ける</p> <p>③ 施工が完了したら、直ちに養生テープをはがす。施工後放置時間が長くなると、塗料が硬化して剥がし難くなる。</p>  <p>《 塗装間隔及び使用可能時間の目安について 》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">温度</th> <th>5~10℃</th> <th>10~25℃</th> <th>25~35℃</th> </tr> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>冬期</th> <th>春秋期</th> <th>夏期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標準 塗装間隔※1</td> <td>最短</td> <td>90分~</td> <td>90分~</td> <td>60分~</td> </tr> <tr> <td>最長</td> <td>~7日</td> <td>~7日</td> <td>~3日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">使用可能時間</td> <td>10時間</td> <td>8時間</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 SPコート1層目塗布からSPコート2層目を塗布するまでの間隔。 SPシート工法専用ポリエステルシートを使用する際は5P目の工程間隔で貼り付ける。</p> <p>《膜厚管理》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗布量 (kg/m<sup>2</sup>)</th> <th>ウェット膜厚 (μm)</th> <th>乾燥膜厚 (μm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0.7</td> <td>700</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>《 使用可能時間について 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>KFシールテクト SPコートは1液タイプですが、空気中の水分と反応する為、空気に触れていると硬化が進みます。 開封後、使用せずに放置する場合には、マスキングテープ、ビニール袋等で塗料を空気から遮断する。</li> </ul>	温度		5~10℃	10~25℃	25~35℃	項目		冬期	春秋期	夏期	標準 塗装間隔※1	最短	90分~	90分~	60分~	最長	~7日	~7日	~3日	使用可能時間		10時間	8時間	4時間	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	ウェット膜厚 (μm)	乾燥膜厚 (μm)	0.7	700	450	<ul style="list-style-type: none"> <li>容量： 15kg入り目</li> <li>容器： 18L石油缶</li> <li>消防法：第4類第2石油類</li> </ul> <p><b>施工条件</b></p> <p>以下の条件をすべて満たした状態で施工を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>降雨、降雪、強風がないこと</li> <li>気温5℃以上、湿度85%以下であること</li> <li>施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと</li> <li>施工面は十分に清掃され付着阻害要因となる異物等がないこと</li> </ul> <p><b>塗装用具のリユースについて</b></p> <p>SPコートは水分と反応する為、ローラー、刷毛に付着した塗料は、シンナーに漬け置いただけではシンナーに含まれる水分と反応して硬化しますので、漬け置きせずに洗浄してください。</p>
温度		5~10℃	10~25℃	25~35℃																											
項目		冬期	春秋期	夏期																											
標準 塗装間隔※1	最短	90分~	90分~	60分~																											
	最長	~7日	~7日	~3日																											
使用可能時間		10時間	8時間	4時間																											
塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	ウェット膜厚 (μm)	乾燥膜厚 (μm)																													
0.7	700	450																													